

第4次国有林野施業実施計画書

(中越森林計画区)

計画期間 自 平成25年4月1日
至 平成30年3月31日

関東森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	3
	(5) 更新総量	5
	(6) 保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	9
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	10
	(1) 保護林の名称及び区域	10
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	12
6	レクリエーションの森の名称及び区域	14
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	26
8	その他必要な事項	26
	(1) 施業指標林、試験地等	26
	(2) フィールドの提供	27
	(3) 森林共同施業団地	27
	(4) その他	28

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積ha、伐期齢 年)

施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
スギ長伐期	432.06	伐採面積の縮小、モザイク的配置	100
スギ分散伐区	1,568.03	〃	60
カラマツ長伐期	87.26	〃	80
カラマツ分散伐区	303.92	〃	55
スギ複層林	1,268.32	水源かん養機能に配慮した非皆伐	60～120
ぼう芽分散伐区	328.16	伐採面積の縮小、モザイク的配置	25
天然林漸伐分散伐区	5,511.49	伐採面積の縮小、モザイク的配置、伐採率の縮小	120
択伐	14,798.94	(注) 1による。	回帰年は定めない
その他	203.00	(注) 2による。	定めない
合計	24,501.18		

(注) 1 択伐施業群の伐採は森林の管理経営の指針で定める伐期齢以上とし、水源涵養機能の発揮に配慮しつつ隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。

2 保護樹帯の伐採は、保護樹帯設定基準によるものとする。

3 面積は林地面積を計上している。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	上限伐採面積
スギ長期	22
スギ分散伐区	101
カラマツ長期	5
カラマツ分散伐区	28
スギ複層林	106
ぼう芽分散伐区	66
天然林漸伐分散伐区	230
択伐	148
その他	20
合計	726

(注) 契約に基づいて主伐を実施する分収林については、水源涵養機能の発揮に支障がない限り上限面積に含めないことができるものとする。

(4) 伐採総量

(単位：材積 m^3)

区 分		林 地				林 地 以 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量		
自然維持タイプ		—	229 (7.91)	229			
森林空間利用タイプ		1,551	11,441 (172.60)	12,992			
水 源 涵 養 タ イ プ	スギ長伐期	—	2,042	2,042			
	スギ分散伐区	14,713	15,413	30,126			
	カラマツ分散伐区	1,019	1,592	2,611			
	スギ複層林	—	15,294	15,294			
	ぼう芽分散伐区	601	—	601			
	天然林漸伐分散伐区	897	355	1,252			
	択伐	95	49	144			
計		17,325	34,745 (481.79)	52,070			
合 計		18,876	46,415 (662.30)	65,291	7,700	72,991	— 72,991
年 平 均		3,775	9,283 (132.46)	13,058	1,540	14,598	— 14,598

(注) () は、間伐面積(ha)である。

(再 掲) 市町村別内訳

(単位：材積 m^3)

市 町 村 名	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
長 岡 市	—	—	—				
三 条 市	1,455	12,577	14,032				
加 茂 市	—	—	—				
十 日 町 市	827	1,769	2,596				
魚 沼 市	—	3,883	3,883				
南 魚 沼 市	5,324	4,772	10,096				
湯 沢 町	11,270	19,940	31,210				
津 南 町	—	3,474	3,474				
合 計	18,876	46,415	65,291				

(注) 市町村内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位 : ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単 層 林 造 成	—	—	3.19	—	41.16	44.35
	複 層 林 造 成	—	—	5.46	—	—	5.46
	計	—	—	8.65	—	41.16	49.81
天然 更新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	—	6.00	—	14.54	20.54
	ぼ う 芽	—	—	—	—	29.73	29.73
	計	—	—	6.00	—	44.27	50.27
合 計		—	—	14.65	—	85.43	100.08

(6) 保育総量

(単位 : ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	—	—	27.30	—	161.35	188.65
	つ る 切	—	—	2.12	—	28.66	30.78
	除 伐	0.55	—	6.91	—	56.52	63.98

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開 設 ・ 改 良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考	
基 幹	改 良	小松原林道	1～5、7、8、14、 15、16、20、21、24	30,000		
		苗場赤湯（赤湯）林道	39、40、69～71	1,500		
		苗場赤湯（苗場山）林道	21、22、24、26～31	3,000		
		苗場赤湯（棒沢）林道	31、37、38、42	2,000		
		土樽（水無）林道	97～99	1,500		
		土樽（土樽）林道	119～121	1,500		
		蓬林道	133	50		
		田代林道	8、9	500		
		大白川林道	213、214、217	3,800		
		北ノ又林道	253	1,000		
		夕沢林道	221、222	1,000		
		三多古林道	9、10	100		
		大谷林道	411～413	3,800		
		網張山林道	402	500		
小 計		14路線		50,250		
そ の 他	開 設	水無（林業専用道）	99	540		
		大谷野々倉（林業専用道）	413	2,170		
		センノ沢（林業専用道）	90	400		
		西ノ沢（林業専用道）	413	1,000		
		大白川左沢（林業専用道）	214、215	1,194		
		大白川浅草岳（林業専用道）	416	800		
		高森山（林業専用道）	203、204	2,630		
	小 計		7路線		8,734	
	改 良	苗場赤湯（赤湯）林道 赤湯支線	71	900		
		苗場赤湯（赤湯）林道 大栃沢支線	40	50		
		岩魚沢林道	84～87	1,000		
岩魚沢林道岩魚沢第1支線		86、87	100			
岩魚沢林道岩魚沢第2支線		84～86	100			
二居林道		92	1,500			
苗場赤湯（苗場山）林道 戒川支線		26、27	100			
苗場赤湯（苗場山）林道 鉢巻支線	22、23	500				

基幹・ その他別	開設 ・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	改良	萱付林道	93、94	1,400	
		苗場赤湯(赤湯)林道 外の川支線	22	500	
		苗場赤湯(棒沢)林道 棒平支線	42	800	
		苗場ふれあいの郷林道	84、88、89	1,000	
		二居林道せんの沢支線	91、92	100	
		奥添地林道	141	500	
		田代林道田代支線	9	50	
		当間林道	107、108	50	
		当間林道当間支線	107、108	50	
		田代林道田代第1支線	9	50	
		田代林道田代第2支線	9	50	
		田代林道田代第3支線	9	50	
		三多古林道三多古支線	9、10、11、15	100	
		足尾沢林道	15	15	
		高石沢林道	16、17	100	
		樺の沢林道	19、22	100	
		カツサ林道	21、23、24	100	
		カツサ林道カツサ支線	21、23、24	50	
		萱付林道萱付支線	94	50	
		通四郎林道	92、93	110	
		松手山林道	90、91	50	
		北の入林道	81、82	200	
		北の入林道北の入支線	82	50	
		小松原林道小赤沢支線	302、303	1,000	
		小松原林道秋山線	302、303	1,000	
		高倉山(併用)林道	310	100	
		高倉山(屈岨)林道	310	300	
		高倉山(日出山)林道	308、309	200	
		大白川右沢	216~218	1,900	
		大谷林道野々倉支線	412	2,000	

基幹・ その他別	開 設 改 良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
そ の 他	改 良	飯士山（林業専用道）	140、141	1,000	
		毛渡沢（林業専用道）	122、123	400	
		大谷野々倉（林業専用道）	413	500	
		水無（林業専用道）	99	500	
	小 計	4 2 路線		18,670	
計	開 設	7 路線		8,734	
	改 良	5 6 路線		68,925	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

4 治山に関する事項

位 置 (林 班)	区 分	工 種	計 画 量
1、19、82、83、92、113、134、 136、139、140、142、147、151、 164、215、216、303、309	保安林の整備	本数調整伐	1,079ha
12、108、113、114、150～153、 160-I、160-II、164、213、214、 216、217、282、283、303、306、 402、403、412～416、420、421、425	保 安 施 設	溪 間 工	84箇所
12、13、72～74、91、92、113～116、 150～153、213、214、217、223～225、 242、402、403、412～416、420、421、 425		山 腹 工	
合 計	保安林の整備		1,079ha
	保安施設		84箇所

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

当計画区では、原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保全を図ることを目的として、下記のとおり保護林を設定しており、適切に保護、保存を図っていくこととする。

種 類	名 称	新既 設別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
森林生態系 保護地域	利根川源流 部・燧ヶ岳 周 辺	既設	8,432.00 保全利用 地 区	159 全 161～163 全 270～277 全	原生的な天然林を保存し、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究等に資する。
	小 計		8,432.00		
	佐 武 流 山 周 辺	既設	1,819.46 保存地区	49～53 全 54 い 55 い 56 い 57 全 58 全	原生的な天然林を保存し、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究に資する。
			2,134.07 保全利用 地 区	46～48 全 54 ろ 55 ろ 56 ろ、イ 59～61 全 63 全 64 全	
小 計		3,953.53			
森 林 生 態 系 保 護 地 域 計			12,385.53		
林木遺伝資源 保 存 林	小松原ブナ	既設	9.02	4 は	日本海側型北陸・山陰型におけるブナの遺伝資源の保存
	榎橋ブナ	既設	17.60	418 い	日本海側型東北・北海道型におけるブナの遺伝資源の保存
林 木 遺 伝 資 源 保 存 林 計			26.62		

種 類	名 称	新既 設別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
植 物 群 落 保 護 林	小松原湿原	既設	1,489.82	1 く～け、ロ 2 か ₃ 、た ₁ ～イ、 ロ ₂ ～ロ ₄ 3 へ、と、ち ₂ 、 ロ ₂ 、ロ ₃ 4 ろ、に～と 5 な、ら 6 全 15 は～ほ 302 か 303 こ 304 全	泥炭湿原及び湿原植物 の保護
	守門岳ブナ	既設	1,079.37	205 へ 206 ぬ 207 へ 208 い～は、る、イ 212 は 213 ぬ	守門岳一帯の豪雪地帯 におけるブナを主とす る天然林の保護
	守門ブナ	既設	698.89	405 ろ～に 409 に 419 イ 437 全	守門岳一帯の豪雪地帯 におけるブナを主とす る天然林の保護
植 物 群 落 保 護 林 計			3,268.08		
特 定 動 物 生 息 地 保 護 林	雨 生 池 ア マ ゴ イ ル リ ト ン ボ	既設	12.75	411 と、ロ	アマゴイルリトンボ生 息地の保護と雨生池及 び周辺の森林景観の維 持
	笠 堀 カ モ シ カ	既設	5,268.97	436 全	笠堀ダム付近に生息す るニホンカモシカの保 護
特 定 動 物 生 息 地 保 護 林 計			5,281.72		
保 護 林 合 計			20,961.95		

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林から除外するべき（貸付地等）を除外した面積である。

(2) 緑の回廊の名称及び区域

緑の回廊は、より広範で効果的な森林生態系の保護・保全に努めるため野生動植物の移動経路を確保し生息・生育地の拡大と相互交流を促すことが適当と認められる国有林野を選定することとして、下記のとおり設定する。

名 称	新既 設別	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
緑の回廊 三 国 線	既設	55.8	7,445.82	62 い ₁ ～い ₂ 76 い ₁ 、ろ ₁ 、は、イ 77 は ₂ ～は ₄ 、 ほ ₁ ～へ 78 に ₁ ～イ 79 り ₁ ～ぬ ₃ 80 と～る ₂ 81 ほ～ち 82 ほ、と、る ₂ ～か、 れ～イ 85 ろ～イ 86 り ₁ ～イ 87 ち～ぬ、イ 90 ね ₁ ～な 121 よ ₂ 、ロ 122 よ ₂ ～イ ₁ 123 ぬ ₁ ～イ ₄ 124 れ～つ ₂ 127 に～イ ₃ 128 全 130 ハ 131 わ ₁ ～か、ロ ₁ 、ロ ₂ 132 は～イ 136 り～イ ₄ 144 ろ～ほ、ロ ₁ 、ロ ₂ 145 い ₁ ～ち ₂ 、 ロ ₁ ～ロ ₃ 146 全 147 り ₁ ～イ ₅ 、ハ 148 そ ₁ ～イ 149 る ₃ 、る ₅ ～か ₂ 149-I い、ろ、ロ ₁ 、 ロ ₂ 156 イ ₂ 、イ ₃ 157 は～と、イ ₄ ～イ ₈	「佐武流山周辺森林生態系保護地域」と「利根川源流部・燧ヶ岳周辺森林生態系保護地域」を結ぶ三国山脈沿いで、天然林の多い地域である。

名 称	新既 設別	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
緑の回廊 越 後 線	既設	55.6	12,657.49	213 い〜り、イ ₁ 〜ロ 214 り、わ ₁ 〜よ、イ 215 全 216 や、ロ ₁ 、ロ ₂ 218 ロ ₁ 、ロ ₂ 219 イ ₁ 、イ ₂ 220 イ 222 わ、ハ 225 い ₁ 〜か、ロ ₁ 〜ハ 226 い〜ぬ 227 い ₁ 〜ろ、ロ 228 全 233 い 234 全 235 全 238 全 239 い〜に 240 い〜に、ロ 241 い〜ち 242 い ₁ 〜よ ₂ 243 い ₁ 〜に、 ほ ₆ 〜か、ロ 253 い〜ね ₂ 254 全 256 い ₁ 〜よ、 ロ ₁ 〜ハ ₄ 257 ろ 258 ろ 278 全 279 全 421 全 423 全 424 全 425 に ₁ 〜イ ₃	「利根川源流部・燧ヶ岳周 辺森林生態系保護地域」と 「越後山脈森林生物遺伝資 源保存林」（下越森林計画 区）等を結ぶ越後山脈沿い で、天然林の多い地域であ る。

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林から除外するべき（貸付地等）を除外した面積である。

6 レクリエーションの森の名称

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然休養林	苗場	既設	2,139.93	21 は、ほ ₁ 、ほ ₂ 、ほ ₅ 22 わ、ら ₂ 23 ほ ₂ 、と ₁ ～ち、り ₂ 、 ぬ、わ ₁ 、わ ₂ 、よ ₁ 、 よ ₃ 、た	苗場山の東面一帯は、原生林的な森林景観を有している。台地状をなす苗場山頂には、無数の地塘を有し、モウセンゴケ・ヤチスゲ・カワズスゲ等の湿原植物が見られ自然観察、自然探勝等に適している。また、棒沢山の東麓にはスキー場の施設が整備され、四季を通して地域住民はもとより首都圏からの利用客が多い。	育成複層林へ導くための施業（以下、育成複層林施業という。）	実施主体：民間 ・リフト等 ・バス停 ・その他施設	国が整備する施設整備の計画なし	
			556.83	24 に ₃ 、に ₄ 26 ろ～は ₂ 27 ろ、は ₁ 、に～へ、る ₁ 、 わ、た～そ、ね ₁ ～ね ₄ 42 い ₁ ～い ₄ 、ろ ₁ ～ろ ₁₀ 43 に ₁ 、に ₂ 65 い ₁					
			526.22	21 い ₂ 、い ₃ 、い ₅ 、い ₆ 、 に ₁ ～に ₅ 、ほ ₄ 、 へ～り、よ ₁ 22 る ₂ 、る ₃ 、れ 23 は ₅ 、は ₇ 、は ₈ 、る、 わ ₃ ～か ₂ 、よ ₂ 、よ ₄ 24 は ₂ 、に ₂ 、ほ、 と～る ₄ 、わ ₂ 26 い、に～へ ₁ 、と、 ち ₂ ～ぬ、わ ₁ ～よ 27 い ₁ 、い ₂ 、は ₂ 、 と～ぬ、る ₂ 、か、 よ、つ、な～お ₃ 28 は ₂ ～ほ 42 い ₅ 、い ₆ 、ろ ₁₁ ～ほ 43 い～は ₂ 、に ₃ ～へ 44 い、ろ 45 い～へ 48 い ₁ 64 い ₁ 、い ₂ 65 い ₂ ～は		天然生林へ導くための施業（以下、天然生林施業という。）	実施主体：湯沢町 ・園地 ・公衆便所		
			1,056.88						

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然休養林	苗場			21 イ ₁ ～ロ ₂ 、ロ ₄ ～ハ ₂ 22 ロ ₁ 、ロ ₂ 23 イ 24 イ ₁ ～イ ₄ 、ニ 26 イ ₁ ～イ ₃ 27 イ ₁ ～ハ 28 イ ₂ 、イ ₃ 42 イ ₁ 、イ ₂ 43 イ～ハ 44 イ 45 イ 47 イ ₁ 48 イ ₁ 、ロ 64 イ		林地以外			
自然休養林計			2,139.93						

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然観察教育林	浅 貝	既設	6.82	71 ハ	浅貝川左岸の平坦地に群生する湿原植物 (ミズバショウ) の自然観察、自然探勝に利用されている。	林地以外	実施主体：湯沢町 ・遊歩道 ・テラス	国が整備する施設整備の計画なし	
	田代平	既設	103.76	213 ち	標高900mに位置し、湿原と周囲のブナ林がマッチし、調和のある自然美を呈している。 湿原は、ミズバショウ・ミズゴケ・モウセンゴケ等の湿原植物が多く見られ、登山者、ハイキング等地元住民、小中高生等に自然探勝の場として利用されている。	天然生林施業	実施主体：魚沼市 ・湿原木道 ・歩道 ・ベンチ ・標識版 ・公衆便所	〃	
				213 ロ		林地以外			
当間高原	既設	362.12	108 そ 109 ほ、ぬ 110 ほ ₂ 112 と ----- 105 い ₂ 、ろ ₂ 106 る ₄ 、れ、め ₁ 、み、せ ₂ 108 か ₂ 、よ ₂ 、た ₂ 、れ つ、ね、な ₂ 109 い、ろ、は ₃ 〜に、 へ〜り、る、わ ₂ 、 か ₂ 、よ ₂ 〜ね 110 い ₂ 、へ ₂ 、わ ₂ 、か ₂ ----- 109 イ	ブナ、ミズナラを主体とした二次林であるが、比較的良好に自然が保たれている。 また、トウホクサンショウウオの生息地南限として学術的に貴重である。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	実施主体： 十日町市 ・歩道 ・自然観察小屋 ・広場	〃		

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然観察教育林	笠堀	既設	154.42	433 る 434 ろ ----- 428 い～は 433 い～は、り～ぬ ₂ 434 い ----- 428 イ 433 イ	五十嵐川の支流、笠堀川ダムの両岸地域で、両岸は切り立った岸壁状を呈しキタゴヨウマツ・ブナ・ミズナラ等の天然林で構成され、優れた自然景観を形成している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	実施主体：三条市 ・遊歩道 ・展望台 ・案内板	国が整備する施設整備の計画なし	
	浅草岳	既設	28.87	217 る ₃ 、わ ₂ ----- 216 り ₂ 217 る ₂ ----- 217 ロ	浅草岳北西山麓の比較的になだらかな斜面に位置し、ブナを主とする若齢の天然生林（一部、人工林）に囲まれており、湿原にはミズバショウ、ミズゴケ等の湿原植物が見られ、自然探勝・観賞等に適した地域である。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	実施主体：魚沼市 ・展望台	〃	
自然観察教育林計			655.99						

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
森林スポーツ林	苗場 ふれあいの郷	既設	10.18	89 ぬ	湯沢町が「苗場ふれあいの郷」の利用者と町民利用を兼ねた園地整備を行うものである。	育成複層林施業	実施主体：湯沢町 ・管理棟	国が整備する施設整備の計画なし	
				84 い 89 り ₁ 、り ₂		天然生林施業			
森林スポーツ林計			10.18						
野外スポーツ地域	石打・丸山 スキー場	既設	142.63	116 ろ ₂ 、ほ、わ ₂	大丸山の東面、標高400～900mに位置し、積雪及び雪質ともに良好で、地形は起伏に富み、初級から上級者まで利用できるスキー場である。	育成複層林施業	実施主体：民間 ・リフト等 ・衛生施設 ・夜間照明施設	国が整備する施設整備の計画なし	
				115 よ ₂ 、よ ₃ 、れ ₁ 116 は ₁ ～は ₃ 、 へ～ち、り ₂ 、 わ ₁ 、か ₁ ～よ ₇		天然生林施業			
				115 イ ₁ 、イ ₂ 116 イ ₁ ～ロ		林地以外	実施主体：新潟県 ・管理用道路		
ツ地	二居 スキー場	既設	9.85	93 と ₂	国道17号線沿い二居集落の北東に位置し、隣接する民有林と一体利用が可能で、二居周辺の民宿利用者等家族向きのスキー場の適地である。	育成複層林施業	実施主体：湯沢町 ・リフト等 ・その他施設	〃	
				93 と ₃ 、と ₄		天然生林施業			
				93 ロ		林地以外			

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	苗場 スキー場	既設	248.88	71 ほ ₁ 、ほ ₂ 、へ ₁ 、へ ₃ 、 と、ち、ぬ～わ ₂ 、 よ～つ ₂ 73 い ₂ 、ろ ₂ ----- 67 は ₃ 71 り、か、ね ₁ 、ね ₂ 72 い ₂ ～い ₇ 、ろ ₂ ～は ₈ 73 は ₂ 、わ ₁ 、わ ₂ ----- 37 ハ 38 ロ 39 ニ 62 イ ₃ 67 イ ₁ 、イ ₂ 、ハ ₂ 70 イ、ロ 71 ロ、ニ 72 イ ₁ ～ロ ₂ 73 イ ₁ 、イ ₂ 、ロ ₂	筈山の東面の標高900～1,780mに位置し、民有林スキー場と一体利用を図るものである。 積雪・雪質とも良好で、起伏に富んだ地形をなし、初級から上級者まで利用できるスキー場である。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	実施主体：民間 ・リフト等 ・時計台 ・管理用道路 ・その他施設	国が整備する施設整備の計画なし	
	田代原 スポーツ林	既設	685.37	31 い～は ₃ 、に、ほ、と ₂ 、 ち ₃ 、り ₅ 、り ₆ 、り ₈ 32 り 36 は ₁ ～は ₆ 、は ₈ ----- 28 い～は ₁ 29 い ₁ ～ほ 30 い ₁ ～り 31 は ₄ ～は ₇ 、へ ₁ ～と ₁ ち ₁ 、ち ₂ 、り ₁ ～り ₄ 、 り ₇ 、ぬ 32 ぬ 34 ほ 35 い ₉ 、い ₁₅ 36 い ₄ 、ろ ₁ ～ろ ₅ 、は ₇ は ₉ 、に ₂ ～に ₈ 37 ろ ₁ ～ろ ₁₁ 、に ₄	神楽ヶ峰東方の田代ダム周辺に位置し、積雪・雪質とも良好で、緩やかな地形を呈している。 初冬から春遅くまで利用できるスキー場である。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業	実施主体：民間 ・リフト等 ・歩道 ・展望台 ・無料休憩所 ・その他施設 実施主体：湯沢町 ・園地 ・野営場 ・サイクリング施設	〃	

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	田代原 スポーツ林			28 イ ₁ 29 イ 30 イ、ロ 31 イ～ハ 35 ロ 36 イ ₁ 、イ ₂ 、ハ、ニ 37 ニ 83 ロ 93 ハ		林地以外			
	八海山 スキー場	既設	192.33	169 い ₁ ～い ₅ 、 い ₇ ～い ₉ 、 い ₁₁ 、い ₁₃ ～は、 ほ～ち ₃ 、ち ₅ ～ち ₈ ----- 169 い ₆ 、い ₁₀ 、い ₁₂ 、 に、ち ₄ 、ち ₉ 、ち ₁₀ る ₃ ～か ----- 169 ロ ₃ 、ハ ₁ ～ニ	越後三山のひとつである八海山の西方南面に位置し、標高500～1,100m、国有林野を主体に民有林と一体利用を図るものであり、積雪は豊富で地形は変化に富み、中級者以上のスキーヤーに適するスキー場である。	育成複層林 施業 間伐面積 9.21ha ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	実施主体：民間 ・リフト等 ・水道施設 実施主体：六日町 ・歩道 ・その他施設	国が整備する施設整備の計画なし	
	当間高原 スポーツ林	既設	623.36	107 ら ₁ ～ら ₆ 、お ₁ 、 お ₂ 、ふ ₂ 111 た ₁ 112 ぬ ₁ 、ぬ ₂ 、ぬ ₄ 、 ぬ ₆ ～ぬ ₈ ----- 107 ろ～へ、ち ₁ ～ぬ、 る ₂ 、わ ₂ 、よ～つ、 む ₁ ～の、や、 ま ₃ ～ま ₅ 、 け ₁ ～ふ ₁ 、こ～き	当間山の北方山麓の標高300～900mに位置し、民有林と一体利用を図るものである。積雪が豊富で、下部は緩斜面が多く、上部は比較的变化に富んだ地形を呈し、冬はスキー場として、春の新緑から秋の紅葉時期における登山等、四季を通じて利用されている野外スポーツ林である。	育成単層林へ 導くための施業（以下、育成単層林施業という） 間伐面積 11.27ha ----- 育成複層林 施業	実施主体：民間 ・リフト等 ・炭窯 ・その他施設 実施主体： 十日町市 ・歩道	〃	

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	当間高原 スポーツ林	既設		108 ろ、は、ほ、と〜り、 る ₁ 〜わ ₂ 、ら〜う ₂ 、 お、く、ま、ふ ₁ 〜こ ₂	また、峰筋を走る魚沼ス カイラインからは魚沼三 山や谷川連峰が遠望でき る。	育成複層林 施業			
				110 ろ、ほ ₁ 、ぬ、る ₁ 111 わ ₂ 〜わ ₆ 、 よ ₁ 〜よ ₃ 112 い ₂ 、い ₃ 、は ₁ 、 は ₃ 、る ₁ 〜る ₃					
				106 り ₁ 、ぬ ₁ 、る ₂ 107 い、と、る ₁ 、わ ₁ 、 か、ね ₁ 〜な、 ら ₈ 〜ら ₁₀ 、く、ま ₁ 、 ま ₂ 、ま ₆ 〜ま ₉ 108 い、に、へ、ぬ、か ₁ 、 よ ₁ 、た ₁ 、な ₁ 、の、 や、け 109 は ₁ 、は ₂ 、わ ₁ 、か ₁ 、 よ ₁ 110 い ₁ 、は、に、へ ₁ 、 と〜り、る ₂ 、わ ₁ 、 か ₁ 111 り ₃ 〜わ ₁ 、か ₁ 、 か ₂ 、た ₃ 112 い ₁ 、い ₄ 〜ろ ₄ 、 ほ ₃ 、へ ₁ 、ち〜り ₂ 、 ぬ ₃ 、ぬ ₅ 、ぬ ₉ 、わ		天然生林施業			
107 イ〜ハ 110 イ ₁ 、イ ₂ 111 イ〜ロ ₃ 112 イ ₁ 〜ロ ₁	林地以外								

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野外スポーツ	苗場ふれあいの郷スポーツ林	既設	4.28	87 い ₂ 88 わ	国道17号沿い元橋集落に接する。標高1,000mに位置し、夏季は冷涼であり、春から秋にかけての三季型の野外スポーツ林である。	育成複層林施業	実施主体：湯沢町 ・公衆トイレ ・テニスコート	国が整備する施設整備の計画なし	
				87 い ₃ 88 ぬ、る ₂		天然生林施業			
				84 ハ 88 ロ		林地以外			
ポ ー ツ 地 域	ガーラ湯沢スキー場	既設	259.69	103 る ₁ 、る ₂	高津倉山の南北にまたがる区域で、標高500～1,180mに位置し、民有林と一体利用を図るものである。積雪・雪質とも良好で地形は変化に富み、初級から上級者まで利用できるスキー場である。	育成単層林施業	実施主体：民間 ・リフト等 ・管理用道路 ・その他施設	〃	
				100 ろ ₃ 、は ₄ ～は ₆ 101 い ₂ ～ち 102 ろ ₂ 、は ₂ 103 り ₂ 、ぬ、る ₃ ～そ 115 よ ₄ 、よ ₅ 、れ ₂		天然生林施業			
				101 イ 102 イ 103 イ		林地以外			
奥只見丸山スポーツ林	既設	196.01	259 は ₁ ～は ₃ 260 ち ₁ ～ち ₃ 261 い ₂ ～い ₁₁ 、 い ₁₃ ～ろ ₁ 262 い ₂	奥只見湖左岸にある丸山北面の標高720～1,240mに位置し、国有林野を主体としたスキー場で、12月上旬から6月上旬までの利用が可能であり、春スキーを特徴とするスキー場である。	天然生林施業	実施主体：民間 ・リフト等 ・歩道 ・管理用道路 ・その他施設	〃		
			259 イ ₁ 、イ ₂ 260 イ ₁ ～イ ₃ 261 イ～ロ ₅		林地以外				

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野外スポーツ地域	飯士高原スポーツ林	既設	194.65	140 い、は、へ、と2、と3	湯沢町北東部にある東面の標高500~900mに位置し、民有地の施設と一体的な利用を図るものである。積雪・雪質とも良好で地形も変化に富んでいる。夏季はやや冷涼で、四季を通じた野外スポーツに適している。	育成複層林施業	実施主体：民間 ・管理用道路 ・その他施設 実施主体：湯沢町 塩沢町 ・キャンプ場 ・遊歩道 ・サイクリングロード ・緑の広場 ・その他施設	国が整備する施設整備の計画なし	
				141 い、は2~は4、は6、は7、は11、に、へ、と、り、ぬ、わ5、わ11、わ12、わ13~よ6、れ1~つ2、な~む、の1~お1、く1、け1、け2		主伐面積 7.00ha			
				141 ろ、に、へ、わ6、わ14、か3、お1		天然生林施業			
				140 ろ、と1 141 は1、は5、は8~は10、は12、は13、ほ、ち、る1~わ4、わ7~わ10、た1~た11、ね、う、ま1、ま2					
野外スポーツ地域計			2,557.05						
風景林	櫓橋	既設	228.37	417 は2、は3、へ、と1	大谷川の溪流・溪谷とヒメコマツ・ブナ・ミズナラを主とする天然林が調和し、優れた自然景観を形成している。	天然生林施業	実施主体：五泉市 ・遊歩道 ・案内板	国が整備する施設整備の計画なし	
				424 い1~は		林地以外			
風景林計			228.37						

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
その他 (レクリエーションの森施設)	中之岳避難小屋	既設	0.01	164 ロ	単独レクリエーション施設として選定	林地以外	実施主体： 新潟県	国が整備する施設整備の計画なし	
	八海山避難小屋	既設	0.03	168 ロ ₁	〃	林地以外	〃	〃	
	千本檜第一避難小屋	既設	0.07	168 ロ ₂	〃	林地以外	実施主体： 六日町	〃	
	千本檜第二避難小屋	既設	0.03	171 イ	〃	林地以外	〃	〃	
	女人堂避難小屋	既設	0.02	169 イ	〃	林地以外	実施主体：民間	〃	
	巻機山避難小屋	既設	0.01	149- I イ	〃	林地以外	実施主体： 塩沢町	〃	
	茂倉避難小屋	既設	0.03	130 イ	〃	林地以外	実施主体： 新潟県	〃	
	蓬峠避難小屋	既設	0.02	132 ハ	〃	林地以外	実施主体： 湯沢町	〃	
	浅貝運動公園	既設	12.79	71 へ ₂ ----- 71 イ	〃	育成複層林施業 ----- 林地以外	実施主体：民間	〃	

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
その他 (レクリエーションの森施設)	保久礼避難小屋	既設	0.02	204 イ ₁	〃	林地以外	実施主体： 長岡市	国が整備する施設整備の計画なし	
	キバ谷避難小屋	既設	0.01	204 イ ₂	〃	林地以外	〃	〃	
	六方宿泊所	既設	0.25	262 イ ₁	〃	林地以外	実施主体：民間	〃	
	六方駐車場	既設	0.10	262 ロ	〃	林地以外	〃	〃	
	六方キャンプ場	既設	0.05	262 ハ	〃	林地以外	〃	〃	
	東電小屋	既設	0.38	277 イ	〃	林地以外	〃	〃	
その他計			13.82						
合計			5,605.34						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年月	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
施業指標林	漸伐天然更新母樹並びに小径木保残作業指標林	S 50.10	21.96	15 い ₂ 、い ₃ 、 い ₅ 、い ₁₀	伐採から保育に至る一貫した施業技術の確立を目指し、施業の指標とする。
	上部ブナ帯における天然更新作業指標林	H4.3	22.50	21 れ	上部ブナ帯における天然更新技術の確立を目指し、施業の指標とする。
小 計			44.46		
試験地	ブナの天然林施業試験地	S 59.3	1.00	23 は ₃	施業体系の検討、資料の収集
	苗場山ブナ天然更新試験地	S 43.3	22.50	21 れ	伐採率・林床処理別更新試験
	オオシラビソ天然更新試験地	S 49.3	0.40	28 ほ	雪田植生の生物多様性動態調査
	ブナ天然林標高別成長量固定試験地	S 59.3	1.40	17 い ₅ 、23 は ₁ 、 23 は ₅ 、27 は ₂	海拔高階ごとの極相林生態系の物質代謝実態調査
	〃	S 49.3	2.84	22 ほ ₂ 、22 ほ ₄	〃
	〃	〃	0.70	22 ほ ₃	〃
	〃	〃	0.28	30 り、32 ろ ₃	〃
	〃	〃	0.20	33 は	〃
	〃	〃	0.44	33 る、33 か	〃
	〃	〃	0.20	101 た	〃
小 計			29.96		

種 類	名 称	設定年月	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
次代検定林	抵抗性検定林 (東耐雪前橋2号)	S60.10	2.18	91 は ₃	
	抵抗性検定林 (東耐雪前橋6号)	H9.9	0.68	91 わ ₁₀ (内)	
小 計			2.86		
遺 伝 子 保 存 林	スギ遺伝子 保 存 林	S45.4	0.22	92に ₃	
	スギ遺伝子 保 存 林	S43.10	2.70	412 ね ₃	
	スギ遺伝子 保 存 林	S47.10	2.74	412 な ₄	
小 計			5.66		
合 計			84.53		

(2) フィールドの提供

対 象 地 (林小班)	設 定 の 目 的	備 考
255 は ₁ 、は ₂ 、に、ほ、 へ、と	ふれあいの森 (銀山平ふれあいの森)	設 定：平成13年1月 実施主体：魚沼市 面 積：34.49ha
84 ニ	ふれあいの森 (苗場ふれあいの郷)	設 定：平成15年6月 実施主体：三国地区森 林づくり協議会 面 積：0.20ha
81 ろ ₁	ふれあいの森 (鮭と鮎の森)	設 定：平成15年9月 実施主体：鮭と鮎の森 林づくり推進協議会 面 積：0.23ha
216 り ₂ 、217全	遊々の森 (浅草山麓遊々の森)	設 定：平成22年6月 実施主体：魚沼市 面 積：230.42ha

(3) 森林共同施業団地

該当なし

(4) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 (ha)	施業方法
91 わ6、わ8、わ9 92 に3 99 く、や	4.76	育成単層林施業
1 る2、よ～た2、そ1、そ2、ね、む～の 21 ろ、ほ3、る1、る2 22 か、よ、そ、な、ら1 81 い、ろ1 83 と2、ぬ～わ 84 り～か 88 い、は～ほ、ち 89 ろ、に、へ、ち、る、わ2、よ、た2～れ 91 と、ち5、ち6、り1、り2、る1～る5、わ5～わ11 92 い2、は～に2、に4～に5 93 と1、と5 96 い～に、へ1、と、ち、ぬ1～ぬ3、わ3、か 97 ろ～に1、に3 99 い～ち、ぬ1、ぬ2、わ～よ、つ、ね、う1、う2、の、 ま～こ 106 は1、は2 111 に1、ほ1、ほ2、と1～と3、り1、り2 112 は2、は4、に1 165 い～は、ほ1、へ、ち、ね、う、の2 169 の1、く1～け1 216 ぬ～わ、そ1、そ2、ね、ら、う、く 217 に～り、る1、わ1、と 218 ろ、へ1、へ2、ち、り、ぬ 255 は1～に、よ 260 に 261 へ 301 ろ～に、へ 302 る、む、の、く	1,050.39	育成複層林施業
1 れ、つ、な、ら、お 21 い1、い4、ぬ、わ 22 た、つ、ね、む 24 へ1 26 へ2、ち1、る1、る2 36 に1、ほ、へ 39 は1、は2 72 い1 83 ち 84 よ 88 ろ、り、る1 89 い、ほ、わ1 91 い1、ち1～ち4、ち7～ち10、ぬ1、ぬ2 92 い1、ろ2、ほ	2,039.07	天然生林施業

位 置	面 積 (ha)	施業方法
93 は ₁ 、は ₂ 、ほ、へ 96 ほ、へ ₂ 、へ ₃ 、り、ぬ ₄ ～わ ₂ 、よ ₁ ～た 97 い、ほ～へ ₂ 、ぬ ₁ ～ぬ ₄ 98 り ₃ ～ぬ 99 り、た、そ、ら～む ₃ 、う ₃ 106 い～ろ ₂ 、に～ち、り ₂ 、ぬ ₂ 、る ₁ 、る ₃ 、わ 111 い、は ₁ 、は ₂ 、に ₂ 、へ、ち 112 に ₂ ～ほ ₂ 、ほ ₄ 、へ ₂ 165 に、ほ、と、り～る ₁ 、る ₃ ～わ、そ、つ 166 い～へ、と ₂ 、と ₃ 169 よ、う ₁ 、う ₂ 、の ₂ 、お、け ₂ 216 り ₁ 、り ₃ 、わ ₂ 、つ、な ₁ ～な ₃ 、む、の、お 217 い～は、ぬ、る ₄ 、る ₅ 、か、た 218 い、は～ほ、と 255 ほ、へ 260 ほ～と 261 い ₁ 、い ₁₂ 、ろ ₂ ～ほ、と 262 い ₃ 、ろ 301 い、ほ 302 り、ぬ、わ、ら、う、け、え、て、さ 404 る ₂ 433 に～ち ₂		天然生林施業
36 ロ 84 イ ₁ 、イ ₂ 、ニ 88 イ ₁ 、イ ₂ 89 イ 93 イ 112 ロ ₂ 169 ロ ₇ 217 イ 218 イ ₁ 、イ ₂ 260 ハ 261 ホ 262 ニ、ホ ₁ 302 イ、ロ	113.29	林地以外
計	3,207.51	

(注) ふれあいの森その他森林空間利用タイプに設定している施業指標林、試験地等を除く。

